

2023年度 事業計画書

【1】事業の実施方針

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてから3年。5月8日に2類から季節性インフルエンザ並みの5類に引き下げられました。それに伴い、昨年度までは様々なイベントにおける参加者の人数制限を設けていましたが、今年度からは、少しその制限を緩めていく方向で進めていきます。

その一つが昨年32回目の実施となった「バス!のってスタンプラリー」です。コロナ禍にあった3年間は、一堂に集まっての開催はできませんでしたが、今年度は久しぶりに参加者が一堂に集まっての開催を予定しています。一方、地球温暖化対策の取り組みは、今年3月20日にIPCCが第6次統合報告書で「2030年に世界全体で温室効果ガス60%削減が必要」であると発表したように、もう『待ったなし』の状況です。当法人としても、行政、事業者とも連携をとりながら、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みをさらにすすめていきます。

しかし、こうした事業を支えるには財政基盤がしっかり担保されていなければなりません。毎年のように単年度マイナスとなっている決算状況からもわかるように、当法人の財政は非常に危うい状況にあります。こうした状況を解消するためには、会員拡大と助成金・協賛金の獲得に取り組み、成果を上げていかなければならないと考えています。とは言え、一朝一夕に成果が上がるとは言い難く、成果が上がるまでの間は、緊縮予算で事業を進めていかなければならないとも考えています。

以上のように、取り組まなければならないことは非常に困難なことでもあります、会員の皆様をはじめ関係者の皆様がたの協力も得ながら進めていきます。

【2】事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

事業名		事業内容	実施 予定日	実施予 定場所	担 当	対象 者	予算額
【1】 地球温暖化	(1)地球温暖化対策推進チームミーティング開催事業	地球温暖化対策事業について、月に一度ミーティングを開催し、当法人が取り組むべき課題や具体的手法、新規事業の企画、継続事業の検証などを行う。	4月1日～ 3月31日	枚方市 全域	運営 委員会	市民・ 事業者	¥507,000 (補助金、 協賛金 等)
	(2)「我が家のエコノート」普及事業	2014年にスタートした本事業は今年9年目を迎える。初期からの継続者は多いが、ここ数年は新規参加者が数名にとどまっているため、新規拡大に力を入れる。	4月1日～ 3月31日				
	(3)ごみ減量推進事業	①リユースコーナーの管理運営事業 認知度も高まり、登録者も着実に増えてきていることから引き続き継続していく。現物を置くことのできない大物についても上手くりユースにのせていけるよう工夫する。 ②エコ宣言としてプラごみの削減事業を推進する。	4月1日～ 3月31日				

事業名		事業内容	実施 予定日	実施予 定場所	担 当	対象 者	予算額
炭化 対策 事業	(4)エコ行動宣言 事業	昨年度で予定していた5年間の取り組みを終えた。今年度からテーマを毎年一つに絞った形での「エコ宣言」を行うこととし、今年度は「プラごみの削減」をテーマに、5項目程度設定。項目をチェックし、出来ていない項目を宣言してもらうことでプラごみ削減行動を進める取り組みとする。今年度も学校等の協力も仰ぎながら広く配布する。					
	(5)CO2排出削減事業	CO ₂ 削減行動を実践する市民のすそ野が広がることを期待し、昨年度作成したポスターにつけているQRコードの内容を、毎月更新し、魅力ある地球温暖化対策行動の情報発信になるようにする。またできればポスターのステッカー板を作成し有料配布を行いたい。	6月～3月				
【2】 環境講座 開催事業	(1)自然エネルギー普及啓発事業 「自然エネルギー学校2023」開講	2050年カーボンニュートラル社会の実現に向け、今年度もバス見学会を実施し、風力発電施設等を見学する。併せて、地球温暖化問題に対する若者たちの考えを聞くと共に、意見交流を行うことで相互理解を深めることを目的にパネルディスカッションを予定。	6月～3月	市内及び周辺	自然エネルギー部会		¥95,000 (補助金、 受講料)
	(2)環境活動スターター講座の開講事業	環境にさほど関心が無い方でも、気軽に参加してもらえるように、手作りや体験を中心とした子供や大人向けのミニ講座を開催。また日常生活での環境に関わる疑問や、社会で話題になっている事柄などを出し合う座談会方式の講座や見学会を「環境ティールーム」として開催する。実施回数はそれぞれ8回を予定。	6月～3月	環境情報コーナー・環境保全研修	事務局	市民	¥10,000 (補助金、 受講料)
	(3)くらわんか塾開催事業	環境問題、中でも気候変動の問題は、今すぐ取り組まなければならないといった状況の中で、当法人の果たさなければならない役割は重要であると考えている。そこで、現在の環境問題及び環境ネットに期待することなどについてのシンポジウムを開催する。					¥6,000 (補助金、 受講料)

事業名		事業内容	実施 予定日	実施予 定場所	担 当	対象 者	予算額
【3】 中間 支 援 事 業	(1) 環境団体活動 交流事業	エコフォーラムを活用し、関係団体との 交流や連携の機会を設ける。	4月1日～ 3月31日	市内各 公共施 設及び 市内各 所	事 務 局	市 民・ 団 体・ 事 業 者	¥50,000 (補助金 等)
	(2) 環境団体 活動支援事業	次の2事業を引き続き行う。 ①エコキャップ回収運搬事業 ②他団体支援協力として各種相談や広報 ツール作製支援などを行う。					
【4】 ひらかた エコフォーラム 開催事業		枚方市との共催で開催予定。各種表彰の 他、楽しみながら環境に関心をもってもら う場とすると共に、他団体や会員全体 交流の機会にも活用する。また今年度も2 部制での実施を予定。開催に当たって は、部会の枠を超え、団体全体で取り組 むことは勿論、状況に応じ柔軟に取り組 む。	2月	サプリ 村野	運 営 委 員 会	市 民・ 団 体・ 事 業 者	¥194,800 (補助金 等)
【5】 環境情報コーナー の 運營業務委託事業		枚方市の委託事業として「枚方市環境情 報コーナー」の管理等運営を行う。環境 情報コーナー開設から8年が経過し、環 境講座開催や各種事業の受付、リユース コーナーの開設により、利用を伸ばして きたが、さらに多くの市民に情報コー ナーを知ってもらい活用いただけるよう 情報発信や内容の充実を図っていく。	4月1日～3 月31日	環境情 報コー ナー・ 環境 保全研 修	運 営 委 員 会	市 民	¥280,000 (受託費)
【6】 総会及び会員交流 会等開催事業		5月に通常総会を開催する。コロナ禍でこ の3年間は会員の本人出席による開催が実 現できていない。特に交流会は団体にと って、会員意識の向上と団体としての 組織強化のためにも重要と考え、開催方 法を検討し、交流会を開催する。	6月	環境保 全研修 室	事 務 局	市 民	¥30,000 (会費)
【7】 広 報 事 業	(1) 会報誌[環境 ひらかた]発行事 業	「環境ひらかた」を年4回発行する。当団 体の活動を伝え、環境課題についてより 理解と関心をもってもらえるような紙面 づくりを心がける。	4月1日～ 3月31日	事務所	事 務 局	市 民	¥240,000 (会費)
	(2) HPの管理運 営事業	様々なきっかけを通じてHPを見てもらえ るように工夫するとともに、内容のさら なる充実を図っていく。					
	(3) その他の 広報活動	FBの活用を再開する。 他のSNSの更新頻度をあげていく。 枚方市のFBへの掲載を依頼したり、機関 紙など、他団体へのPRも行っていく。					
【8】 モ ビ	(1) 「ひらかた 交通タウンマッ プ」作製配布事業	「ひらかた交通タウンマップ」及び啓発 チラシを年2回更新・作成し全転入世帯 に配布する。また、市内の公共施設や駅 にも設置し広く市民に活用してもらえる ようにする。	4月1日～ 3月31日	枚方市 役所及 び支所			

事業名		事業内容	実施 予定日	実施予 定場所	担当	対象 者	予算額
ヒ リ テ ィ ・ マ ネ ジ メ ン ト 事 業	(2) 公共交通利 用促進事業	①「バス！のってスタンプラリー」の実施 市内の名所や歴史文化史跡などを巡るイベント「バス！のってスタンプラリー」を、1日で実施し、公共交通の利便性と枚方のまちの楽しさを体験してもらう。 ②「ひらかた交通すごろく」の活用 ③交通タウンマップの普及促進の取り組み 寝屋川市をはじめ、他自治体へタウンマップの受注を働きかけ、枚方市周辺も含めた公共交通利用促進に努める ④バスバックヤードツアー 枚方市駅、樟葉駅発各2台（枚方市が枚方市こども	4月1日～ 3月31日	枚方市 全域と 周辺都 市の一 部	公 共 交 通 部 会	市 民	¥950,000 (受託費)
	【9】 く り 推 進 ま ち づ ぶ 事業	歴史文化遺産の保 存と活用事業	環境スターター講座と連携し、枚方市内のまち歩きやフォトコンテストを開催することで、わがまちの環境を知り、未来にむけての歴史的文化遺産のあり方を考える。	6月～10月	枚方市 内	ま ち づ く り 部 会	市 民

事業名		事業内容	実施 予定日	実施予 定場所	担 当	対 象 者	予算額
【10】 環境教育推進事業	(1) 環境教育の出前授業の実施事業	今年度も引き続き市内学校園をはじめ各種団体等への出前授業を実施する。新メニューを加え、SDGsの目標との関連を明確にした「改訂版出前授業プログラム」を作成。期首にそれを全小学校へ依頼文と共に発送し、その後適宜学校訪問を行い、より多くの学校で出前授業に取り組んでもらえるよう働きかけをしていく。	4月1日～ 3月31日	枚方市内学校園	環境教育部会	市民・児童・生徒	¥170,000 (受託費、寄付金)
	(2) 環境啓発・環境教育ツール作成事業	使用器材のメンテナンスをしっかりと行うとともに不測の場合に備えて、「リカバリー用のパーツ」を用意する。 また「授業内容」は、学校側が「やってもらいたいと思っている授業」「学校側のニーズ」を取り込んで、それを「環境啓発に繋げる内容にした授業」を提案して行く。そのための新規メニューを積極的に開発していく。					
【11】 人材育成事業	インターンシップ受け入れ事業	夏休みと春休みの年2回、インターンシップとして大学生を受け入れる。これからの地球を担う若い世代への環境啓発、そしてリーダーとなっていける人材を育てる。また、若い世代の感覚を把握し、我々の活動や啓発スタイルへの参考とさせてもらう。	8月～9月 2月～3月	事務所	事務局	大学生	¥5,000
	インターン生フォローアップ事業	インターン終了後も環境活動に関心をもってもらうため、いつでも相談に来れるような継続した関係づくりを行っていく。具体的には、スタッフとしてイベントへの参加の呼びかけや、SNSや会報誌を通じての情報提供も行う。	4月1日～ 3月31日				

2. 収益事業

該当計画なし

